

## 中学部 2 年 生活単元学習 学習指導案

日 時 令和 4 年 9 月 5 日 (月) 10 : 30 ~ 11 : 20  
場 所 図書室  
授業者 舘岡裕介 (T 1) 山田育宏 (T 2)  
安田幸道 (T 3)

### 1 単元名 中 2 お茶プロジェクト ~ 檜山茶を校内で宣伝しよう ~

### 2 単元の目標

- (1) 檜山茶の味、歴史などの特徴を調べ、生産や販売の工夫や努力を知る。【知・技】
- (2) 檜山茶の特徴や生産・販売の工夫・努力を捉え、他者に伝わるような文章を考え表現する力を高める。【思・判・表】
- (3) 他者に檜山茶を知ってもらうために、相手からもらった意見を生かして発表内容の工夫や改善をしようとする。【学・人】

【知・技】知識・技能【思・判・表】思考力・判断力・表現力等【学・人】学びに向かう力・人間性等

### 3 生徒と単元

#### (1) 生徒について

男子 4 名、女子 2 名の計 6 名からなる学級である。概ね言語による簡単な指示が理解できる。素直な性格の生徒が多く、にぎやかで学級の雰囲気は活発で明るく仲が良い。

未体験のことなどをイメージすることが難しく、相手の気持ちを考えて行動することが苦手な生徒が多い。また、自分の意見を発表することや、自分の考えを言語化することを苦手とする生徒がいるが、話し合いのルールや譲り合いを活動前に確認するなど、手順を視覚化することで、周りの友達と協力する姿が見られるようになってきている。

昨年度から「お茶プロジェクト」として檜山茶に関連した学習を行い、檜山茶の栽培・販売をする「茶誠堂」に行き、茶畑見学やお茶の種植え体験、除草作業や手揉み体験をしてきた。檜山茶を種から育てる経験を経て、檜山茶の歴史を学び、美味しいお茶の入れ方等の練習を重ねたことで、地域の特産物である檜山茶の美味しさや魅力に気付き、交流を通して地域への興味・関心も育ってきている。

#### (2) 単元について

「中 2 お茶プロジェクト」は、昨年度から継続し、地域の自然や産業を知り、身近な地域の特産品や働く人に興味や関心をもつとともに、相手意識を育てることにつながると考えている。

今年度は檜山茶の栽培・販売をする「茶誠堂」から「能代山本地域の人に檜山茶を宣伝してほしい」という依頼を受け、宣伝する内容や方法を考え、宣伝することを計画している。学級で話し合いを行い、「檜山茶」という名称を能代山本地域の人に「確実に知ってもらいたい」と考え、手元や目の前に残る手段としてパンフレットやポスターを制作することにした。

本単元は、生徒たちがこれまで学んだことをパンフレットやポスターにまとめるための前段階として、校内で宣伝する活動を中心に取り上げる。昨年度の経験を生かして、これまで学習してきたことや体験してきたことをクイズ等にまとめる活動を通して、何を相手に一番伝えたいか意識できるようにしたい。話し合いでは、理由を添えて自分の意見を述べることや友達を気遣いながら全員の意見をまとめるように意識することで、今後様々な集団の中でも円滑に話し合いを行うための基礎づくりとしたい。能代山本地域の人に檜山茶の魅力を伝えたい、茶誠堂の役に立ちたいという思いから自分の役割に責任をもって取り組み、更によりよいものを作って宣伝したいという意欲を高めながら、生産者の工夫や努力について理解することができるのではないかと考え、本単元を設定した。

(3)指導について

- ・学習に対する見通しがもてるように単元計画表を示して確認する。
- ・本時の学習に対する見通しがもてるよう、ホワイトボードに前時までの学習の記録を残し、グループで確認する機会を設定する。
- ・生徒が具体的なイメージをもって、学習活動に取り組めるように、動画や写真等を活用して茶誠堂の方とやり取りする場面や、茶誠堂への校外学習等の体験を設定する。
- ・気候や気温の違いを視覚的に区別できるように、日本地図に気温別に塗り分けて示す。
- ・生徒主体で話し合いができるように、話し合いの進め方を示したり、話し合いのルールを板書して明記したりする。
- ・話し合いの場面では、自分の意見を表現する手段として、付箋紙や電子メモパットを用意し、全ての生徒が参加できるよう工夫する。
- ・宣伝の評価をその都度得られるように、タブレット端末で自分の宣伝する姿を撮影して自己評価する場面や、アンケートなどで他者評価する場面を設定する。

4 指導計画（総時数 28 時間）

小単元名	目 標	指導する教科等	主な活動内容	時数
(1)宣伝方法を決めよう ・宣伝方法を考える ・能代山本地域で有効な宣伝方法を決める	・茶誠堂からの宣伝依頼の要点が分かる。【知・技】 ・宣伝目的を理解し、相手に分かりやすい宣伝方法を協力して決める。 【思・判・表】 【学・人】	国語 社会	・茶誠堂からの檜山茶に関する宣伝依頼動画を視聴する。 ・宣伝方法を調べ、目的に合致する方法を話し合っ て決める。	4
(2)檜山茶の特徴を知ろう ・檜山茶の歴史 ・檜山茶の栽培地の気候 ・檜山茶の味 ・茶誠堂への校外学習（茶葉の手揉み、インタビュー等） ・生産や販売のための工夫や努力	・檜山茶誕生の歴史や関わった人物を知る。【知・技】 ・他のお茶と比較しながら檜山茶の味や栽培されている気候について理解し、相手に分かりやすくまとめる。 【知・技】 【思・判・表】 ・檜山茶の製法が分かり、体験やインタビューを通して檜山茶について更に知ろうとする。 【知・技】 【学・人】	国語 社会 理科	・檜山茶の歴史について、インターネット検索を活用し、調べる。 ・檜山茶と他の日本茶の味を比較し、味の違いを自分の言葉で表現する。 ・有名な日本茶の栽培地域や各地の気温を比較し、檜山茶が栽培されている気候を調べる。 ・茶葉の手揉み体験やインタビューを行い、檜山茶について学びを深める。	8
(3)檜山茶について校内で宣伝しよう ・紹介文や出題内容を考える ・中学部の生徒や職員に発表する ・アンケートを基に改善する	・これまで学習してきたことをまとめ、檜山茶について知ってもらえるような宣伝やクイズを考える。 【知・技】 【思・判・表】 ・アンケートを読み取り、改善に向けて変更部分や役割分担をグループで話し合っ て決める。【思・判・表】	国語 社会	・檜山茶の特徴や生産者の工夫や努力をまとめ、宣伝内容やクイズを考える。 ・役割分担をして小道具製作や宣伝準備を行う。	(本時 9/16)

## 5 本時の計画（総時数 28 時間中の 21 時）

### (1) 全体の目標

- ・これまでの学習でまとめた資料を生かして、檜山茶の特徴や生産者の工夫等をまとめ、クイズを作ることを通して相手に伝わりやすい文章のつくり方を知る。 【知・技】 【思・判・表】

### (2) 個別の目標と手立て

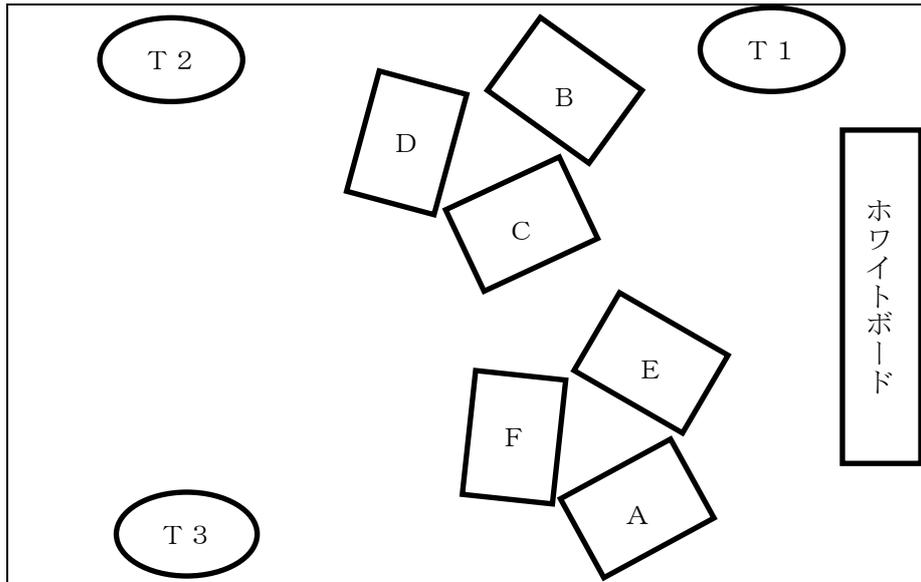
氏名	単元の目標	本時の目標	目標達成の手立て
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・檜山茶の味や誕生した時代、栽培地の気候が分かる。【知・技】</li> <li>・ホームページの記事やインタビューから必要な情報を抜き出すことができる。【思・判・表】</li> <li>・相手から意見を引き出し、グループの意見をまとめようとする。【学・人】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで習得した知識を用いて、檜山茶の特徴や生産者の工夫・努力に気づき、4つのテーマに沿ってクイズを考える。【知・技】 【思・判・表】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な情報を思い出し、活用できるように、檜山茶コーナーを用意する。</li> <li>・必要に応じて、学習ファイルを活用するように言葉掛けする。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・檜山茶の味や誕生した時代、栽培地の気候を知る。【知・技】</li> <li>・情報を基に考えをまとめ、発表することができる。【思・判・表】</li> <li>・グループの友達の話聞き、話合いに参加しようとする。【学・人】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・檜山茶コーナーを見て、これまでの学習を確認し、檜山茶の特徴について、ワークシートでまとめながらクイズを考える。【知・技】 【思・判・表】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習を想起できるように、これまでの檜山茶に関する活動の様子を写した写真や制作した掲示物を提示する。</li> <li>・考えたことをクイズにできるように、記入すると話し言葉のクイズになる穴埋め式のワークシートを準備する。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・檜山茶の特徴を知る。【知・技】</li> <li>・自分の意見を相手に伝えることができる。【思・判・表】</li> <li>・宣伝相手や宣伝目的を理解し、目的に合った宣伝内容を選択しようとする。【学・人】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・檜山茶コーナーを見て、これまでの学習を確認し、檜山茶について知っていることを、ワークシートでまとめながらクイズを考える。【知・技】 【思・判・表】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習を想起できるように、これまでの檜山茶に関する活動を写した写真や制作した掲示物を提示する。</li> <li>・クイズにしたいことを表出できるように、キーワードや想起したことを書くワークシートを用意する。</li> <li>・考えたことをクイズにできるように、記入すると話し言葉のクイズになる穴埋め式のワークシートを準備する。</li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・檜山茶の味や誕生した時代、栽培地の気候を簡単に説明することができる。【知・技】</li> <li>・他者の意見を取り入れて、改善方法を考えることができる。【思・判・表】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・檜山茶コーナーを見て、これまでの学習を確認し、檜山茶の特徴や体験したこと等に関するクイズを考える。【知・技】 【思・判・表】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習を想起できるように、活動の様子を写した写真や制作した掲示物を提示する。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を思いやる言動に気を付けて話合いに参加しようとする。 【学・人】</li> </ul>		
E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・檜山茶の味や誕生した時代、栽培地の気候を簡単に説明することができる。【知・技】</li> <li>・自分の意見を相手に伝えることができる。 【思・判・表】</li> <li>・伝える相手や宣伝目的を理解し、檜山茶について更に知ってもらえるように工夫しようとする。【学・人】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで習得した知識を用いて、例題を参考にしながら4つのテーマに沿ってクイズを考える。 【知・技】 【思・判・表】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な情報を活用できるように、檜山茶コーナーを用意する。</li> <li>・困っていることや相談したいことなどを付箋紙や電子メモパットでやり取りできるようにする。必要に応じて、付箋紙等の活用を促す。</li> </ul>
F	<ul style="list-style-type: none"> <li>・檜山茶の味や歴史、栽培地の気候を知る。 【知・技】</li> <li>・宣伝相手や宣伝目的を理解し、目的に合った宣伝内容を選ぶことができる。 【思・判・表】</li> <li>・相手を思いやった言動を考えて、自分の意見を伝えようとする。 【学・人】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・檜山茶コーナーや学習ファイルを見て、これまでの学習を確認し、檜山茶の特徴について4つのテーマに沿ってクイズを考える。 【知・技】 【思・判・表】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な情報を思い出し活用できるように、檜山茶コーナーや学習ファイルを用意する。</li> <li>・必要に応じて、教師と一緒にキーワードを探し、例題を参考に作成するように言葉掛けをする。</li> </ul>

(3) 学習過程

時間 (分)	学習活動	手立て・指導上の留意点
10:30 (10)	1 本時の学習内容やめあてを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学習してきた知識の定着を確認するために、本時の学習活動の参考例となる、三択制と一問一答制のクイズを出題する。</li> <li>・これまでの学習を生かしてクイズを作れるように、学習の様子を写した写真や作成した資料を4つのテーマに分類し、「檜山茶コーナー」として掲示する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて これまでの学習でまとめた資料を使って、檜山茶のよさや生産者の工夫・努力が伝わるクイズを作ろう。</p> </div>
10:40 (25)	2 クイズを作り、グループで話し合っテクイズをテーマ別に分ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Aグループ B、C、D (T 2)</li> <li>・ Bグループ A、E、F (T 3)</li> </ul> (全体：T 1) <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 1人でクイズを作る。</li> <li>(2) 作ったクイズをグループで共有し、檜山茶に関わる4つのテーマ「味・香り」「歴史」「栽培」「収穫・製法」に分ける。</li> <li>(3) 相手グループに出題するクイズを1人1問選び、グループ内でクイズの内容を確認する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの意見を伝え、友達のことをじっくりと聞く場面を設定するために、3人1組のグループを2組設定する。</li> <li>・校内の生徒や先生に、「知らなかった!」「檜山茶、すごい!」「とても気になる!」と言ってもらえるような、特徴や生産者の工夫・努力が伝わるクイズを作るよう伝える。</li> <li>・クイズの内容をイメージできるように、教師が導入で出題したクイズの文型や選択肢等を選び、参考にするよう伝える。</li> <li>・これまでの学習を思い出してクイズ作りに活用できるように、「檜山茶コーナー」や学習ファイルを参考にするよう伝える。</li> <li>・BやCは、考えたことをクイズにできるように、必要に応じて、記入すると話し言葉のクイズになる穴埋め式のワークシートを準備する。</li> <li>・Eが自分の意見を表出できるように、付箋紙や電子メモパットを用意する。</li> <li>・それぞれのクイズがどのテーマのものなのかを確認できるように、4つのテーマごとに区切られたホワイトボードを用意し、クイズを分類してホワイトボードに貼るよう指示する。</li> <li>・友達と相談し、協力してテーマの分類ができるように、T 1は望ましい話合いの仕方を活動前に伝える。T 2、T 3は、必要に応じてその都度、相談の様子を即時評価する。</li> <li>・檜山茶の特徴や生産者の工夫・努力が伝わるクイズになっているか評価し合ったり、誤字・脱字等、改善が必要な箇所に気付いたりできるように、グループ内でお互いが選んだクイズを見合う場面を設定する。</li> </ul>
11:05 (13)	3 テーマごとに仕分けしたクイズを共有し、相手グループにクイズを出題する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員で見て共有できるように、グループごとにホワイトボードを黒板に掲示させる。</li> <li>・これまでの学習を再確認し、更に深めるために、テーマごとの檜山茶のアピールポイントや生産者の工夫・努力などを見合い、気付いたことや分かったことがないか質問する。</li> </ul>
11:18 (2)	4 本時の活動を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・檜山茶について分かったことや学んだことを基に、クイズを作ることができたことを称賛する。</li> <li>・校内での檜山茶の宣伝に向けた見通しがもてるように、次時は、今回のクイズに対する意見や反省を生かして、クイズを改良し、出題内容をまとめていく活動に入ることを伝える。</li> </ul>

(4) 配置図



(5) 板書計画

(左黒板)

中2 お茶 プロジェクト	めあて	これまでの学習でまとめた資料を使って、檜山茶のよさや生産者の工夫・努力が伝わるクイズを作ろう。			
		Aグループ		Bグループ	
今日の活動		味 香り	栽培	味 香り	栽培
①檜山茶クイズにチャレンジ ②檜山茶クイズを作ろう ③テーマごとに分類しよう		歴史	収穫 製法	歴史	収穫 製法

(右黒板)

檜山茶コーナー

(6) 評価の観点

(生徒) ・これまでの学習で調べたことやキーワードを活用して、檜山茶のよさや生産者の工夫や努力が伝わるクイズを作ることができたか。

(教師) ・これまでの学習をまとめた教具や、生徒が自分でクイズの内容や出題形式を選択・決定するための支援は適切であったか。

## 単元を通して育成する各教科等の主な内容

<p>中学部 国語 思考・判断・表現 1段階</p> <p>A 聞くこと・話すこと</p> <p>イ <u>話す事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決めること。</u></p> <p>ウ 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見などについて内容の大体が伝わるように伝える順序等を考えること。</p> <p>オ 相手の話の関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合い、考えをもつこと。</p> <p>B 書くこと</p> <p>ア <u>見聞きしたことや経験したことの中から、伝えたい事柄を選び、書く内容を大まかにまとめること。</u></p> <p>エ 自分が書いたものを読み返し、間違いを正すこと。</p>
<p>中学部 国語 知識・技能 2段階</p> <p>ア 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 (エ) 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、使える範囲を広げること。</p>
<p>中学部 社会 1段階</p> <p>ア 社会参加ときまり</p> <p>(ア) 社会参加するために必要な集団生活に関わる学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>㊦ 学級や学校の中で、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりするなど、集団生活の中での役割を果たすための知識や技能を身に付けること。</p> <p>㊧ 集団生活の中で何が必要かに気づき、自分の役割を考え、表現すること。</p> <p>エ 産業と生活</p> <p>(ア) 仕事と生活に関わる学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>㊦ <u>生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることが分かること。</u></p> <p>㊧ <u>仕事の種類や工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現すること。</u></p> <p>(イ) 身近な産業と生活に関わる学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。</p> <p>㊦ <u>販売の仕事は、消費者のことを考え、工夫して行われていることが分かること。</u></p> <p>㊧ <u>消費者の願いや他地域との関わりなどに着目して、販売の仕事に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現すること。</u></p> <p>オ 我が国の地理や歴史</p> <p>(ア) 身近な地域や市町村の様子に関わる学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>㊦ 身近な地域や自分たちの市の様子が分かること。</p> <p>㊧ 都道府県内における市の位置や市の地形、土地利用などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現すること。</p>
<p>中学部 理科 2段階</p> <p>イ 季節と生物</p> <p>(ア) 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けること。</p> <p>㊧ 植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあること。</p>

下線は、本時を通して育成する各教科等の主な内容